

つながる微生物の不思議：農と医も？

茨城大学の重点研究である“つながる微生物の不思議プロジェクト”と農医連携プロジェクトがジョイントシンポジウムを開催します。
今回は、活発な研究を行っているお二人を招き、話題提供をいただきます。
また、私たちのプロジェクトからも最近の成果を発表し、情報交換を行います。
研究者がつながることで、新たな研究分野の芽を育てましょう！
皆様の参加をお待ちしております。

日時 **2017年 3月9日(木)** 13:00~17:00

場所 **茨城大学農学部 講義棟100番教室**
阿見町中央 3-21-1

招待講演

「自然生態系に潜む超多様な真菌たちは農業の救世主となるのか？」

東樹宏和 (京都大学)

「もう1つの臓器、腸内細菌叢の機能に迫る」

福田真嗣 (慶應義塾大学)

成果発表

「共に生きる菌類と細菌：ミクロな遭遇が宿主菌類に与える影響」

高島勇介 (東京農工大学連合農学研究科)

「根部エンドファイトが植物根圏微生物叢とその生産性に影響を与える」

郭永 (茨城大学農学部)

「県在来カンキツ、フクレミカンの昔と今」

藤井 智教 (茨城大学大学院)

「うつ病モデル動物のメタボローム研究」

豊田淳 (茨城大学農学部)